御用だ！御用だ！

えこ町奉行がゆく！

捕物帳其の拾弐●「動物もつらいよ！シロクマの適応術」の巻

エコには少し無頓着な無田杉家の人々。そんな家族に地球温暖化の現状や対策について、えこ町奉行が鋭く解説します。

―出演―

えこ町奉行所

岡っ引き

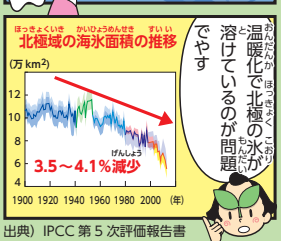
無田杉家の人々

お父さん

お母さん

マナブくん(小4)

サクラちゃん(小1)



出典）IPCC 第５次評価報告書

これがシロクマの温暖化を生き抜く４つの『適応術』でい！

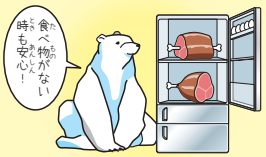
① 今まで食べなかったものを食べる

迷い込んで来たイルカや渡り鳥の卵を食べるようになった。

シロクマがイルカを食べる姿が確認されたことはかつてなかった。

② 食べ残しを冷蔵する

痩せたシロクマがイルカの食べ残しを雪に埋めているのが目撃されている。



食べ残しを「冷蔵」することはこれまで見られなかった行動である。

③ 海岸でのんびり

海氷が少ない夏季に、海岸で過ごすシロクマの割合が増えている。

短い夏の間、陸の上で休眠に近い状態でエネルギーを温存しているのではないかと考えられている。

④ 人の食べ物に興味

お腹を空かせたシロクマがエサを求めて人里に近づきトラブルに巻き込まれる事態が起こっている。

シロクマにとっても、人間にとっても危険な状況に。

出典：ナショナルジオグラフィック日本版ウェブサイト
https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/a/090800033/
※イラストはイメージです。

つづく